

令和6年度 第4回 浜名中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月12日（火） 15時から16時30分まで
- 2 開催場所 浜名中学校 会議室
- 3 出席委員 竹内 佐織、松島 一博、平野 岳子、内山 益巳、高橋 香代、
小野崎 あゆみ
- 4 欠席委員 岡田 正利、竹内 幸弘
- 5 オブザーバー 井田 正人（浜名協働センター職員）
- 6 学校支援コーディネーター 高橋 佳代
- 7 学 校 河合 和夫（校長）、内山 昌俊（教頭）、黒柳 幸夫（教頭）、橋爪 敦志
（主幹教諭）、西村 善希（生徒指導主事）、遠藤 千歳（CS担当教職員）、
中島 洋子（CSディレクター）
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子
- 9 協議事項
（1）会長あいさつ （2）校長のあいさつ （3）議長の選出 （4）前回会議録の確認
（5）制服検討委員会の報告 （6）いじめ対策委員会の報告 （7）熟議 （8）連絡事項
- 10 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子
- 11 会議記録 司会是高橋委員が行った。

（1）会長あいさつ （竹内会長）

- ・学校行事や地元の催事に、先生・生徒の協力により無事に終わることができた。
合唱指揮指導の講師の方から、学校側の丁寧な対応及び生徒の積極的な活動に感激した旨伝えられた。
今後も継続しての活動を提案された。
- ・いじめと不登校の増加に対して、熟議を続けながら解決していきたい。

（2）校長のあいさつ （河合校長）

- ・2学期は、学校行事が多く新人戦等もあり生徒が頑張ってくれた。
- ・近々に期末テストが行われる、衣替えは無いので気候に合わせ体調を崩さないように。

（3）議長の選出 （司会 高橋委員）

司会より、委員総数8人のうち6人の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
議長の選出について竹内会長を推挙する発言があり、全員拍手で異議なくこれを承認した。

（4）前回会議録の確認 （黒柳教頭）

- ・12月に計画している、放課後学習について外部協力者と委員ボランティアにより進めている。
- ・11/22の避難訓練では、生徒・職員の動きを見て、防災士（松島委員他）より、指導・講評を受ける。

（5）制服検討委員会の報告 （内山教頭）

- ・エンブレムとボタンが決まり、制服のデザインが確定し小学校にも展示されている。
- ・採寸会を12/8（日）浜名中学校で行う。
浜名小児童を午前中、内野小児童を午後に採寸を計画している。欠席者の対応は、現在検討中。
- ・来年度の新入生からブレザー型の新制服での入学式になり、3年間は新旧の制服が混在する。

（6）いじめ対策委員会の報告 （西村生徒指導主事）

- ・2学期に7件の報告があり、計27件となったがほとんど解消している。

4件について、行動はないが被害者側の不安な気持ちが残っているので後を引いている。

- ・多くの報告は、タブレットのアンケートから明らかになり、複数の職員で解決に向かっている。
- ・トラブルとして、8～9割がネットがらみで“悪口”“画像”等々があり、双方の聞き取りや事実確認を行い細かく対応している。

※『一度ネットに上がった画像は消すことができない』ことを学校ではどのように伝えているのか。
(平野委員)

- ・日常の授業に加えて、12/10に、浜松市青少年育成センターから講師を招き、全校生徒対象でモラル教育授業（啓発・注意喚起を含む）を行う。

※『安心しました』中学生のうちに、怖さを先に知ったうえで機器を使ってほしい。(平野委員)

※保護者の中でいじめに対する情報はるか。(議長 竹内会長)

- ・部活動の中でも保護者間でいじめの話題は上がっていない。(小野田委員)

※ネットは、使うことも隠すことも子供はうまい。保護者・教師も、わずかな変化も見落とさないようにしてほしい。(内山委員)

(7) 熟議 司会が議長(竹内会長)に替わった。

学校側からの報告に対して意見の有無の確認をした。(議長 竹内会長)

各報告に委員の発言を追記(*印)した。(作成者 中島)

※今回の避難訓練は、避難経路が使用不可になった時等の、生徒・教師のアクシデント対応力を確認したい。(松島委員)

※地震の際の待機中ポーズとして、“ダンゴムシ型”では不安であるという意見があり、一考の余地がある。(松島委員)

※不登校の起因として発達障害等の可能性もあり、個々に対応をしてほしい。(松島委員)

- ・浜松市では不登校・発達障害のケアとして、5歳児検診等で原因を早期に発見し、医療専門家(医師等)の指導を受ける動きがある。行政も各課が手を結び、現在検討する動きがある。(平野委員)
- ・幼児期で早めに指導が受けられれば、保護者も丁寧な対応が可能でより良い学校生活を送ることができる。(高橋委員)

- ・不安を抱える親のケア(共感・情報)が必要である。(内山委員)

親の情報交換の場として、協働センターを利用するとよい。(竹内会長、井田オブザーバー)

関係チラシや情報を、公私に分けず“さくらメール”で送ってはどうか。(平野委員)

○3年生面接練習会について (黒柳教頭)

昨年の卒業生から、「安心して受験ができた」「自信がついた」の意見があった。

私立学校の合格発表後の2月17, 18, 19日に予定されていて、面接官として、委員の協力依頼がされた。チェック表【添付資料】を参考とする。

○次回熟議項目として、自習時間の見守りボランティアの募集の件で提案がされた。(河合校長)

○地域防災訓練に、協力意志のある生徒の保護者からの理解が得られない。来年度は、町内会と協力中学生との顔合わせの場を設けてほしい。(松島委員)

(8) 連絡事項 議長(竹内会長)から司会(高橋委員)に替わった

1, 学校運営協議会自己評価について 【資料参照】(黒柳教頭)

2, 合唱指揮者講習会の報告 (黒柳教頭)

非常に良い結果が得られたので、次年度も依頼したい旨の報告があった。

3, 次回の学校運営協議会開催予定が司会から報告があった。

第5回会議が、令和7年2月7日(金)15時から、会議室で行われる旨連絡があった。